

## 「情報公開文書」

### 研究課題名：単焦点眼内レンズ TECNIS Eyhance™における臨床成績と 低加入分節型眼内レンズ LENTIS Comfort®の比較

承認日：令和3年9月28日 承認番号：21-Nr-062

#### 1. 研究の対象

承認日以降～令和8年3月30日に当院で白内障手術を受けた際、単焦点眼内レンズ TECNIS Eyhance™または低加入分節型眼内レンズ LENTIS Comfort®を眼内へ挿入された方

#### 2. 研究目的・方法

近年における白内障手術は視力を向上させるだけでなく、どこにピントを合わせるかということが非常に大事となっています。白内障手術後の眼内レンズの選択肢は、焦点を遠方または近方のどちらかに合わせる単焦点眼内レンズ、術後眼鏡を装用したくないという希望があるならば、遠近にピントが合う多焦点眼内レンズという選択肢があります。単焦点眼内レンズは術後遠方または近方どちらか眼鏡の装用が必要であること、多焦点眼内レンズの場合、グレア・ハローといい、光を見ると光がぎらついた見え方が生じる可能性、遠近の見え方は良好であっても中間の見え方が少し劣ることがあるという欠点があります。さらに多焦点眼内レンズは保険診療外となるため手術前にはレンズ選択が非常に重要となってきます。

最近発売された眼内レンズTECNIS Eyhance™はこれらの欠点を解消した眼内レンズとされ、保険診療内で扱え、裸眼で見える領域が広がると報告されています。

本研究においてはTECNIS Eyhance™を挿入した後の術後の見え方を自覚的・他覚的に評価することを目的とし、この研究により、今後の白内障術時のレンズ選択をより患者様のニーズに合わせて行うことができるのではないかと考えています。

#### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：カルテ上の生年月日、視力、遠視・近視・乱視の屈折度数等を使用します。

#### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、  
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

○研究責任者○

国際医療福祉大学医学部 眼科・教授

柴 友明

電話:0476-23-3607 眼科(PHS)90143

E-mail:[tomoaki-s@med.toho-u.ac.jp](mailto:tomoaki-s@med.toho-u.ac.jp)

住所:〒286-0124 千葉県成田市畑ヶ田 852

-----以上